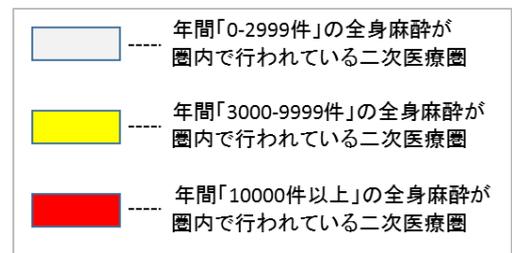
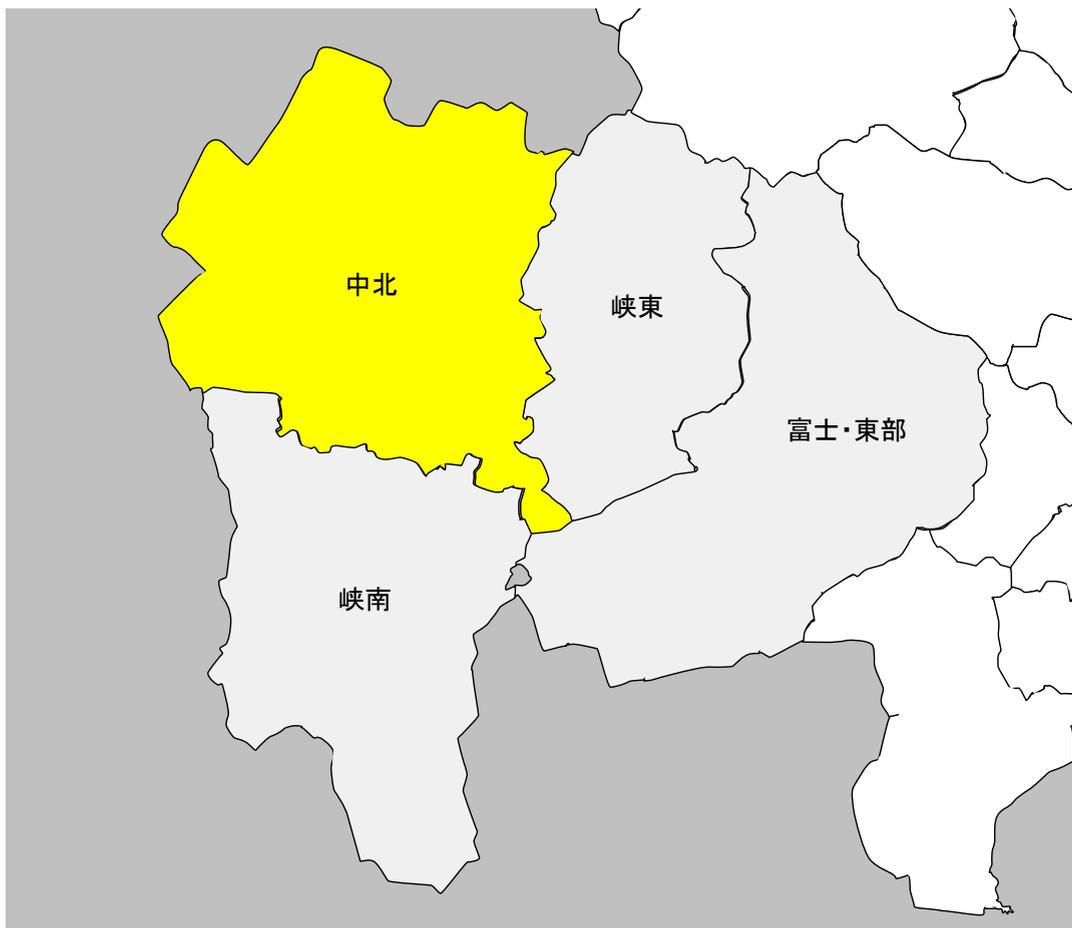


# 19. 山梨県



目次

山梨県	19	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	19	-	7
1. 中北医療圏	19	-	19
2. 峡東医療圏	19	-	23
3. 峡南医療圏	19	-	27
4. 富士・東部医療圏	19	-	31

# 19. 山梨県

## (山梨県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 山梨県は、総人口約810千人(2020年)、面積4,461km<sup>2</sup>、人口密度は182人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 山梨県の総人口は2030年に724千人へと減少し(2020年比-11%)、2045年に599千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の131千人が、2030年にかけて159千人へと増加し(2020年比+21%)、2045年には160千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 山梨県の一人当たり医療費(国保)は361千円(偏差値48)、介護給付費は267千円(偏差値51)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が50(病院医師数51、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 山梨県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,195人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が6,989床(偏差値48)、高齢者住宅等が3,206床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、9,537人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設46、介護医療院47、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム42、サ高住48である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,110人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## 2. 推移

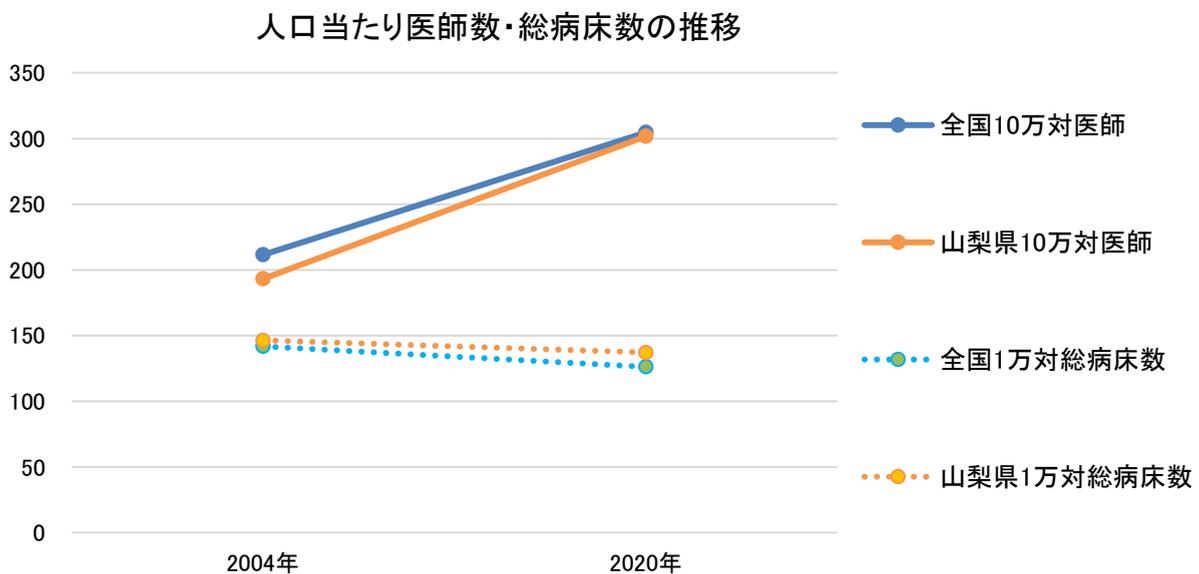
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は63(人口10万人当たり7.1病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2020年に60(人口10万人当たり7.4病院(全国平均6.5)偏差値52)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は644(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2020年に697(人口10万人当たり86診療所(全国平均81)偏差値52)と、53診療所が増加した。

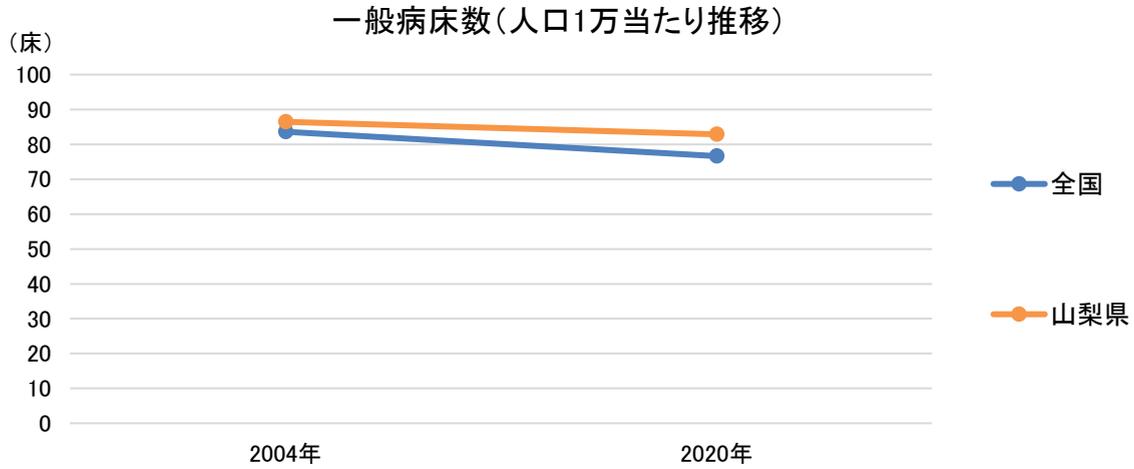
2004年の総病床数は12,944床(人口1万人当たり146(全国平均142)偏差値51)であったが、2020年に11,112床(人口1万人当たり137(全国平均126)偏差値52)と、1,832床の減少、率にして14%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,710人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2020年に2,444人(人口10万人当たり302人(全国平均305人)偏差値50)と、734人の増加、率にして43%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



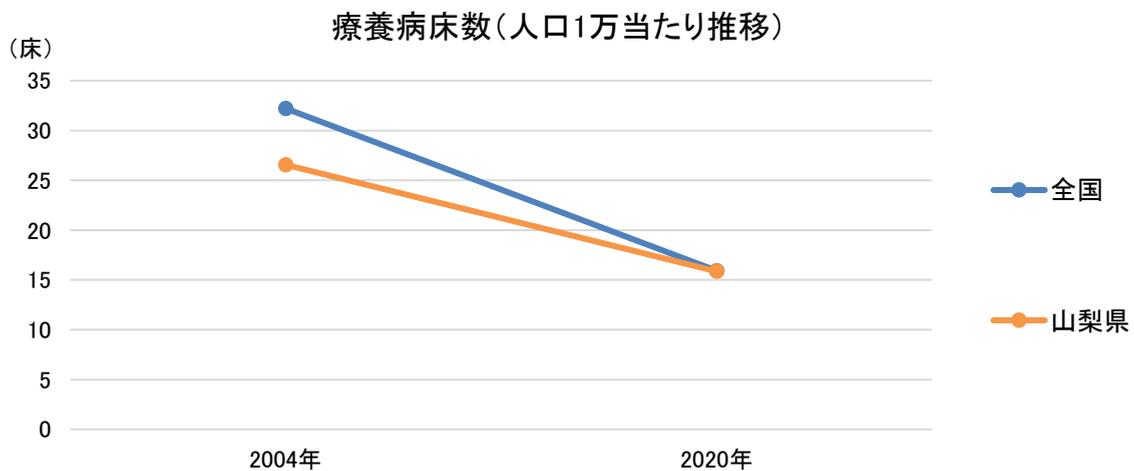
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は7,651床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2020年に6,717床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値52)と、934床の減少、率にして12%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は2,565床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2020年に2,072床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均16)偏差値50)と、493床の減少、率にして19%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 19-1 地理情報・人口情報

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率
全国	126,146		372,959		338.2		29%
山梨県	810	42位	4,461	32位	181.6		31%
中北	460	57%	1,336	30%	344.1	地方都市型	29%
峡東	130	16%	756	17%	171.5	過疎地域型	33%
峡南	48	6%	1,060	24%	45.1	過疎地域型	40%
富士・東部	173	21%	1,309	29%	132.1	過疎地域型	31%
出典	<人口>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <面積>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月						

資\_図表 19-2 人口動態

二次医療圏	2020年 総人口 (単位: 千人)	2030年 総人口 (単位: 千人)	2045年 総人口 (単位: 千人)	2020年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2030年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2045年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2020→ 30年 総人口 増減率	2030→ 45年 総人口 増減率	2020→ 30年 75歳以上 人口 増減率	2030→ 45年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,146	119,125	106,421	18,602	22,884	22,767	-6%	-11%	23%	-1%
山梨県	810	724	599	131	159	160	-11%	-17%	21%	1%
中北	460	419	359	69	87	90	-9%	-14%	26%	3%
峡東	130	118	96	23	28	28	-9%	-19%	22%	0%
峡南	48	38	26	11	11	10	-21%	-32%	0%	-9%
富士・東部	173	150	118	28	33	33	-13%	-21%	18%	0%
出典	<人口(2020年)>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <人口(2030年・2045年)>市区町村別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月									

資\_図表 19-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費			入院外+ 調剤			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	372	(46)	1.000	147	(33)	1.000	199	(18)	1.000	263	(33)
山梨県	361	48	0.963	141	48	0.953	196	48	0.976	267	51
中北	350	45	0.943	131	45	0.897	195	47	0.979	266	51
峡東	370	50	0.991	146	50	0.990	198	49	0.991	283	56
峡南	383	53	0.962	155	52	0.980	206	54	0.963	307	64
富士・東部	373	50	0.991	157	53	1.059	193	46	0.957	243	44
出典	<一人あたり医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>令和元年度介護保険事業状況報告(年報) 令和元年度累計(平成31年3月サービス分から令和元年2月サービス分まで) ※愛知県、福岡県、沖縄県の一部市町村は二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、介護給付費の二次医療圏値の算定には構成市町村の75歳以上人口による投分を用いた。										

資\_図表 19-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	937	(123)	1.000	475	(103)	1.000	426	(38)	1.000
山梨県	844	42	0.906	423	45	0.885	391	40	0.934
中北	852	43	0.912	421	45	0.880	400	43	0.951
峡東	872	45	0.933	457	48	0.947	386	39	0.925
峡南	822	41	0.849	426	45	0.838	373	36	0.878
富士・東部	809	40	0.872	400	43	0.838	380	38	0.913
出典	＜一人あたり後期高齢者医療費＞令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 19-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,238		6.5	(4.2)	102,612		81	(19.4)
山梨県	60	0.7%	7.4	52	697	0.7%	86	52
中北	32	53%	7.0	51	424	61%	92	56
峡東	14	23%	10.8	60	85	12%	66	42
峡南	6	10%	12.5	64	46	7%	96	58
富士・東部	8	13%	4.6	45	142	20%	82	50
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 19-6 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,612		81	(19.4)	96,309		76	(19.2)	6,303		5.0	(5.6)
山梨県	697	0.7%	86	52	662	0.7%	82	53	35	0.6%	4.3	49
中北	424	61%	92	56	399	60%	87	55	25	71%	5.4	51
峡東	85	12%	66	42	82	12%	63	43	3	9%	2.3	45
峡南	46	7%	96	58	46	7%	96	60	0	0%	0	41
富士・東部	142	20%	82	50	135	20%	78	51	7	20%	4.0	48
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 19-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,507,526		1,195	(487)	86,046		68	(87)	1,593,572		1,263	(538)
山梨県	10,684	0.7%	1,319	53	428	0.5%	53	48	11,112	0.7%	1,372	52
中北	6,004	56%	1,306	52	304	71%	66	50	6,308	57%	1,372	52
峡東	2,470	23%	1,906	65	53	12%	41	47	2,523	23%	1,946	63
峡南	549	5%	1,148	49	0	0%	0	42	549	5%	1,148	48
富士・東部	1,661	16%	961	45	71	17%	41	47	1,732	16%	1,002	45
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 19-8 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	887,920		704	(229)	289,114		229	(184)	324,481		257	(223)
山梨県	6,325	0.7%	781	53	2,036	0.7%	251	51	2,273	0.7%	281	51
中北	3,571	56%	777	53	1,144	56%	249	51	1,255	55%	273	51
峡東	1,416	22%	1,092	67	568	28%	438	61	482	21%	372	55
峡南	395	6%	826	55	150	7%	314	55	0	0%	0	38
富士・東部	943	15%	545	43	174	9%	101	43	536	24%	310	52
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 19-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69	(53)	99,487		79	(77)
山梨県	931	1.1%	115	59	702	0.7%	87	51
中北	291	31%	63	49	291	41%	63	48
峡東	605	65%	467	125	238	34%	184	64
峡南	0	0%	0	37	39	6%	82	50
富士・東部	35	4%	20	41	134	19%	77	50
出典	令和4年4月地方厚生局				令和4年4月地方厚生局			

資\_図表 19-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	441,504	395,508	14,642	1,056,086	488,026	271,703	44.8%	(26%)	5.1%	(23%)
山梨県	4,256	3,695	283	6,350	2,589	1,716	58.8%	55	14.2%	54
中北	2,801	2,415	120	3,203	1,156	1,024	67.6%	59	10.5%	52
峡東	69	69	0	2,360	1,306	568	5.0%	35	0.0%	48
峡南	335	305	26	214	90	124	77.2%	62	17.3%	55
富士・東部	1,051	906	137	573	37	0	96.1%	70	100.0%	91
出典	地方厚生局指定一覧令和4年4月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院は、「新公立病院改革プラン」・「公的医療機関等2025プラン」の策定対象病院とし、開設者が国・都道府県/市区町村/日本赤十字社/済生会/独立行政法人地域医療機能推進機構/地方独立行政法人/独立行政法人国立病院機構/国家公務員共済組合連合会などの病院を含む(ただし地域医療支援病院と特定機能病院については上記に適合しない学校法人の大学病院など全て民間に分類)。これら以外を民間病院としている。指定一覧掲載施設のうち、休止中の病院等は除外している。									

資\_図表 19-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
山梨県	12,831	0.6%	1,584	47	5,724	0.7%	707	52
中北	9,843	77%	2,142	54	4,092	71%	890	58
峡東	1,594	12%	1,230	43	672	12%	518	45
峡南	137	1%	286	31	0	0%	0	25
富士・東部	1,257	10%	727	36	960	17%	555	46
出典	令和3年度病床機能報告(令和2年4月~令和3年3月)				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月 ※令和2年9月の月間件数×12			

資\_図表 19-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
山梨県	2,444	0.6%	302	50	1,619	0.7%	200	51	825	0.6%	102	47
中北	1,669	68%	363	56	1,125	70%	245	57	544	66%	118	52
峡東	333	14%	257	45	247	15%	190	50	86	10%	66	37
峡南	95	4%	198	39	66	4%	138	43	28	3%	59	35
富士・東部	348	14%	201	40	181	11%	105	38	167	20%	97	46
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 19-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	33,119	26.3	(12.4)		14,168	11.2	(4.9)		11,602	9.2	(4.3)	
山梨県	198	0.6%	24.4	49	111	0.8%	13.7	55	77	0.7%	9.5	51
中北	137	69%	29.8	53	80	72%	17.4	63	57	74%	12.4	58
峡東	36	18%	27.8	51	13	12%	10.0	48	5	6%	3.9	37
峡南	2	1%	4.2	32	3	3%	6.3	40	0	0%	0	28
富士・東部	23	12%	13.3	40	15	14%	8.7	45	15	19%	8.7	49
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 19-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	5,948	4.7	(2.3)		9,835	7.8	(3.1)		7,558	6.0	(2.7)	
山梨県	43	0.7%	5.3	53	56	0.6%	6.9	47	56	0.7%	6.9	53
中北	32	74%	7.0	60	39	70%	8.5	52	46	82%	10.0	65
峡東	9	21%	6.9	60	8	14%	6.2	45	6	11%	4.6	45
峡南	1	2%	2.1	39	2	4%	4.2	38	1	2%	2.1	35
富士・東部	1	2%	0.6	32	7	13%	4.0	38	3	5%	1.7	34
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 19-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科専門医数				外科専門医数				整形外科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	9,934	7.9	(3.6)		22,312	17.7	(7.0)		17,476	13.9	(4.9)	
山梨県	56	0.6%	6.9	47	144	0.6%	17.8	50	120	0.7%	14.8	52
中北	42	75%	9.1	54	99	69%	21.5	56	85	71%	18.5	59
峡東	9	16%	6.9	47	17	12%	13.1	43	14	12%	10.8	44
峡南	0	0%	0	28	6	4%	12.5	43	3	3%	6.3	35
富士・東部	5	9%	2.9	36	22	15%	12.7	43	18	15%	10.4	43
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

19.山梨県(2022年版)

資\_図表 19-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科専門医数				脳神経外科専門医数				放射線科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	6,279	5.0	(2.2)		7,149	5.7	(2.5)		6,391	5.1	(3.3)	
山梨県	44	0.7%	5.4	52	56	0.8%	6.9	55	42	0.7%	5.2	50
中北	29	66%	6.3	56	37	66%	8.1	60	37	88%	8.1	59
峡東	6	14%	4.6	48	11	20%	8.5	61	3	7%	2.3	42
峡南	2	5%	4.2	46	0	0%	0	27	0	0%	0	35
富士・東部	7	16%	4.0	46	8	14%	4.6	46	2	5%	1.2	38
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 19-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科専門医数				病理専門医数				救急科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	7,997	6.3	(3.5)		1,820	1.4	(1.0)		4,704	3.7	(2.3)	
山梨県	52	0.7%	6.4	50	13	0.7%	1.6	52	23	0.5%	2.8	46
中北	46	88%	10.0	61	12	92%	2.6	62	22	96%	4.8	55
峡東	2	4%	1.5	36	0	0%	0	36	0	0%	0	34
峡南	0	0%	0	32	1	8%	2.1	56	0	0%	0	34
富士・東部	4	8%	2.3	38	0	0%	0	36	1	4%	0.6	36
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 19-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科専門医数				リハビリテーション科専門医数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	2,377	1.9	(1.4)		2,868	2.3	(1.6)	
山梨県	10	0.4%	1.2	45	22	0.8%	2.7	53
中北	8	80%	1.7	49	9	41%	2.0	48
峡東	0	0%	0	37	11	50%	8.5	88
峡南	0	0%	0	37	0	0%	0	36
富士・東部	2	20%	1.2	45	2	9%	1.2	43
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

資\_図表 19-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
山梨県	7,412	0.6%	915	50	6,037	0.7%	745	51	1,375	0.6%	170	47
中北	4,690	63%	1,020	53	3,737	62%	813	54	953	69%	207	52
峡東	1,487	20%	1,147	58	1,317	22%	1,016	62	170	12%	131	41
峡南	308	4%	645	40	274	5%	572	43	35	3%	72	34
富士・東部	926	12%	535	36	709	12%	410	37	217	16%	126	41
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 19-20 療法士総数と薬剤師数

二次医療圏	療法士総数				薬剤師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	149,112		118	(62)	321,982		255	(99)
山梨県	1,298	0.9%	160	57	1,852	0.6%	229	47
中北	554	43%	120	50	1,209	65%	263	51
峡東	617	48%	476	107	283	15%	218	46
峡南	35	3%	73	43	71	4%	148	39
富士・東部	93	7%	54	40	289	16%	167	41
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月			

資\_図表 19-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,280		0.8	(0.4)	1,698		0.1	(0.1)	14,163		0.8	(0.3)
山梨県	68	0.4%	0.5	43	12	0.7%	0.1	50	54	0.4%	0.4	36
中北	43	63%	0.6	45	5	42%	0.1	48	30	56%	0.4	37
峡東	13	19%	0.6	44	5	42%	0.2	67	11	20%	0.5	39
峡南	1	1%	0.1	32	2	17%	0.2	62	5	9%	0.5	38
富士・東部	11	16%	0.4	39	0	0%	0	38	8	15%	0.3	31
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和4年5月			

資\_図表 19-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,806,963		97	(15)	1,036,035		56	(14)	770,928		41	(14)
山梨県	10,195	0.6%	78	38	6,989	0.7%	54	48	3,206	0.4%	25	38
中北	5,503	54%	80	39	3,607	52%	52	48	1,896	59%	27	40
峡東	2,260	22%	100	52	1,372	20%	61	53	888	28%	39	48
峡南	713	7%	66	30	643	9%	59	52	70	2%	6	24
富士・東部	1,719	17%	61	27	1,367	20%	49	45	352	11%	13	29
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 19-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数				介護医療院定員数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護医療院定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.3)	605,983		33	(10.0)	25,266		1.4	(2.6)	39,703		2.1	(3.5)
山梨県	2,649	0.7%	20	51	4,149	0.7%	32	49	40	0.2%	0.3	46	151	0.4%	1.2	47
中北	1,415	53%	21	51	2,038	49%	30	47	40	100%	0.6	47	114	75%	1.7	49
峡東	510	19%	22	55	862	21%	38	55	0	0%	0	45	0	0%	0	44
峡南	154	6%	14	41	489	12%	45	62	0	0%	0	45	0	0%	0	44
富士・東部	570	22%	20	51	760	18%	27	45	0	0%	0	45	37	25%	1.3	48
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの															

資\_図表 19-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム定員数				軽費ホーム定員数				グループホーム定員数			
	有料老人ホーム	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.4)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.6)
山梨県	605	0.2%	4.6	40	0	0.0%	0	44	885	0.4%	6.8	42
中北	163	27%	2.4	38	0		0	44	603	68%	8.7	45
峡東	442	73%	19.5	56	0		0	44	132	15%	5.8	40
峡南	0	0%	0	35	0		0	44	42	5%	3.9	37
富士・東部	0	0%	0	35	0		0	44	108	12%	3.9	37
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 19-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	274,702		14.8	(7.0)	33,108		1.8	(2.0)	241,594		13.0	(6.6)
山梨県	1,716	0.6%	13.1	48	43	0.1%	0.3	43	1,673	0.7%	12.8	50
中北	1,130	66%	16.4	52	0	0%	0	41	1,130	68%	16.4	55
峡東	314	18%	13.9	49	43	100%	1.9	51	271	16%	12.0	48
峡南	28	2%	2.6	33	0	0%	0	41	28	2%	2.6	34
富士・東部	244	14%	8.7	41	0	0%	0	41	244	15%	8.7	44
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 19-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	188,635		10.1	(2.3)	119,762		6.4	(2.1)	68,873		3.7	(1.3)
山梨県	1,030	0.5%	7.9	40	744	0.6%	5.7	46	286	0.4%	2.2	38
中北	562	55%	8.2	41	380	51%	5.5	45	182	64%	2.6	42
峡東	204	20%	9.0	45	155	21%	6.8	52	49	17%	2.2	38
峡南	81	8%	7.5	38	62	8%	5.7	46	19	7%	1.8	35
富士・東部	183	18%	6.5	34	148	20%	5.3	44	35	12%	1.3	31
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 19-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,556,622		84	(12.7)	1,327,531		71	(12.4)	229,090		12.3	(5.1)
山梨県	10,647	0.7%	82	48	9,537	0.7%	73	51	1,110	0.5%	8.5	43
中北	5,881	55%	85	51	5,154	54%	75	53	727	65%	10.5	47
峡東	2,072	19%	91	56	1,919	20%	85	61	153	14%	6.8	39
峡南	879	8%	81	48	816	9%	75	53	63	6%	5.8	37
富士・東部	1,815	17%	65	35	1,648	17%	59	40	166	15%	5.9	38
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

19.山梨県(2022年版)

資\_図表 19-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,477,229		79	(35)	677,400		36	(14)	1,147,886		62	(23)
山梨県	4,617	0.3%	35	38	2,715	0.4%	21	39	6,003	0.5%	46	43
中北	2,645	57%	38	38	1,706	63%	25	42	3,648	61%	53	46
峡東	1,181	26%	52	42	504	19%	22	40	1,104	18%	49	44
峡南	161	3%	15	32	218	8%	20	38	352	6%	32	37
富士・東部	630	14%	23	34	287	11%	10	31	899	15%	32	37
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの							

資\_図表 19-29 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減		
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.8)	8,238	6.5	(4.2)	-839	-9%	
山梨県	63	7.1	50	60	7.4	52	-3	-5%	
中北	35	7.3	51	32	7.0	51	-3	-9%	
峡東	14	9.6	56	14	10.8	60	0	0%	
峡南	6	9.5	56	6	12.5	64	0	0%	
富士・東部	8	4.0	42	8	4.6	45	0	0%	
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月								

資\_図表 19-30 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減		
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	97,051	76	(20)	102,612	81	(19)	5,561	6%	
山梨県	644	73	48	697	86	52	53	8%	
中北	394	83	53	424	92	56	30	8%	
峡東	72	49	37	85	66	42	13	18%	
峡南	49	77	51	46	96	58	-3	-6%	
富士・東部	129	65	45	142	82	50	13	10%	
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月								

資\_図表 19-31 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	384,332	305	(99)	113,961	42%
山梨県	1,710	193	48	2,444	302	50	734	43%
中北	1,149	241	54	1,669	363	56	520	45%
峡東	236	161	44	333	257	45	97	41%
峡南	77	121	39	95	198	39	18	23%
富士・東部	248	125	40	348	201	40	100	40%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資\_図表 19-32 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,593,572	126	(54)	-218,982	-12%
山梨県	12,944	146	51	11,112	137	52	-1,832	-14%
中北	7,601	159	53	6,308	137	52	-1,293	-17%
峡東	2,781	190	59	2,523	195	63	-258	-9%
峡南	590	93	41	549	115	48	-41	-7%
富士・東部	1,972	100	42	1,732	100	45	-240	-12%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資\_図表 19-33 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	967,030	77	(27)	-101,791	-10%
山梨県	7,651	86	51	6,717	83	52	-934	-12%
中北	4,582	96	54	3,839	84	53	-743	-16%
峡東	1,403	96	54	1,469	113	64	66	5%
峡南	436	69	45	395	83	52	-41	-9%
富士・東部	1,230	62	42	1,014	59	43	-216	-18%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

19.山梨県(2022年版)

資\_図表 19-34 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	296,050	16	(9)	-77,773	-21%
山梨県	2,565	27	47	2,072	16	50	-493	-19%
中北	1,404	30	48	1,180	17	51	-224	-16%
峡東	815	46	58	568	25	60	-247	-30%
峡南	150	13	39	150	14	48	0	0%
富士・東部	196	10	37	174	6	40	-22	-11%
出典	<療養病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

# 19-1. ちゅうほく 中北医療圏

構成市区町村 [甲府市](#) [韮崎市](#) [南アルプス市](#) [北杜市](#)  
[甲斐市](#) [中央市](#) [昭和町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (中北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 中北(甲府市)は、総人口約460千人(2020年)、面積1,336km<sup>2</sup>、人口密度は344人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 中北の総人口は2030年に419千人へと減少し(2020年比-9%)、2045年に359千人へと減少する(2030年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の69千人が、2030年にかけて87千人へと増加し(2020年比+26%)、2045年には90千人へと減少する(2030年比-14%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 中北の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値45)、介護給付費は266千円(偏差値51)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が56(病院医師数57、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。中北には、年間全身麻酔件数が2000例以上の山梨県立中央病院(特定群・救命)、山梨大学医学部附属病院(大学本院群)、1000例以上のNH0甲府病院(標準群)、市立甲府病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 中北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,503人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,607床(偏差値48)、高齢者住宅等が1,896床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,154人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設47、介護医療院49、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム45、サ高住52である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、727人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

## (中北医療圏) 2. 推移

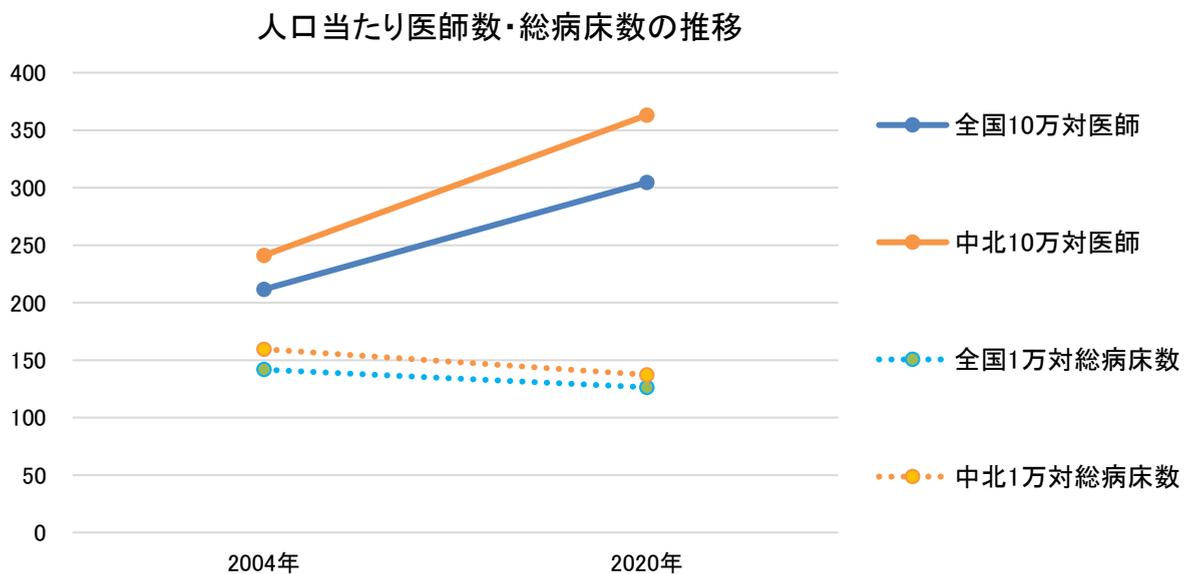
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は35(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2020年に32(人口10万人当たり7病院(全国平均6.5)偏差値51)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は394(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2020年に424(人口10万人当たり92診療所(全国平均81)偏差値56)と、30診療所が増加した。

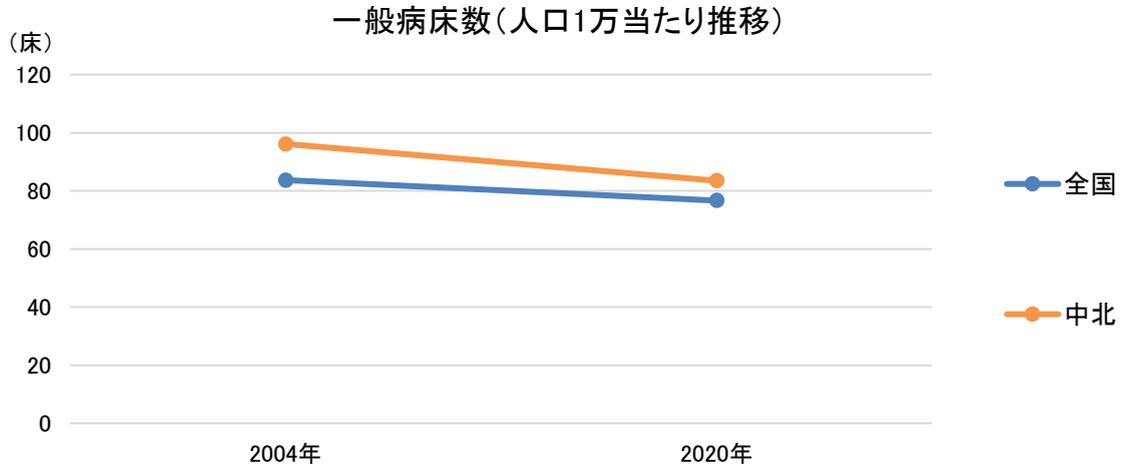
2004年の総病床数は7,601床(人口1万人当たり159(全国平均142)偏差値53)であったが、2020年に6,308床(人口1万人当たり137(全国平均126)偏差値52)と、1,293床の減少、率にして17%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,149人(人口10万人当たり241人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2020年に1,669人(人口10万人当たり363人(全国平均305人)偏差値56)と、520人の増加、率にして45%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



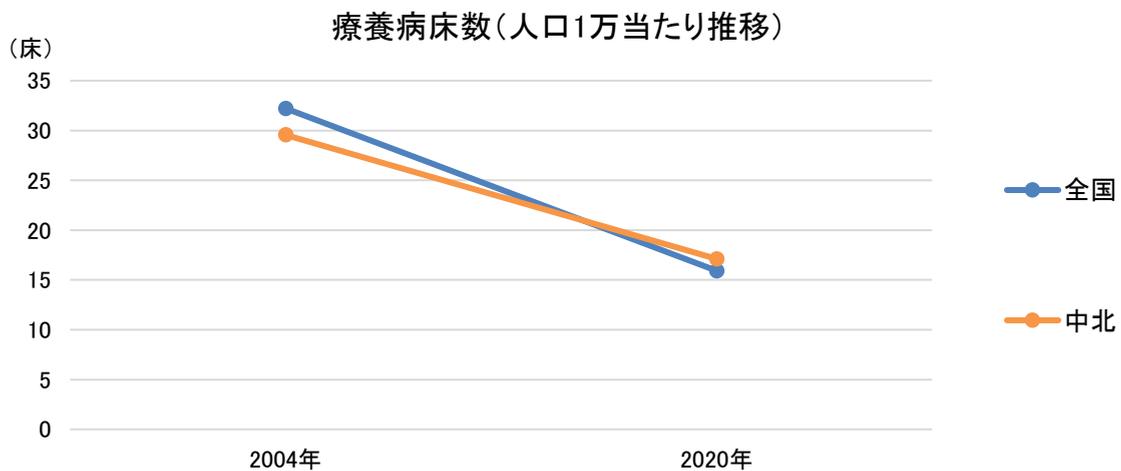
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は4,582床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2020年に3,839床(人口1万人当たり84(全国平均77)偏差値53)と、743床の減少、率にして16%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,404床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に1,180床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均16)偏差値51)と、224床の減少、率にして16%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 19-2. きょうとう 峡東医療圏

構成市区町村

[山梨市](#)

[笛吹市](#)

[甲州市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (峡東医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 峡東(山梨市)は、総人口約130千人(2020年)、面積756km<sup>2</sup>、人口密度は171人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 峡東の総人口は2030年に118千人へと減少し(2020年比-9%)、2045年に96千人へと減少する(2030年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の23千人が、2030年にかけて28千人へと増加し(2020年比+22%)、2045年には28千人へと減少する(2030年比-19%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 峡東の一人当たり医療費(国保)は370千円(偏差値50)、介護給付費は283千円(偏差値56)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数50、診療所医師数37)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は67で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。峡東には、年間全身麻酔件数が500例以上の山梨厚生病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値107と非常に多く、回復期病床数は偏差値125と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 峡東の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,260人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,372床(偏差値53)、高齢者住宅等が888床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,919人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム56、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム40、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値67と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、153人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## (峡東医療圏) 2. 推移

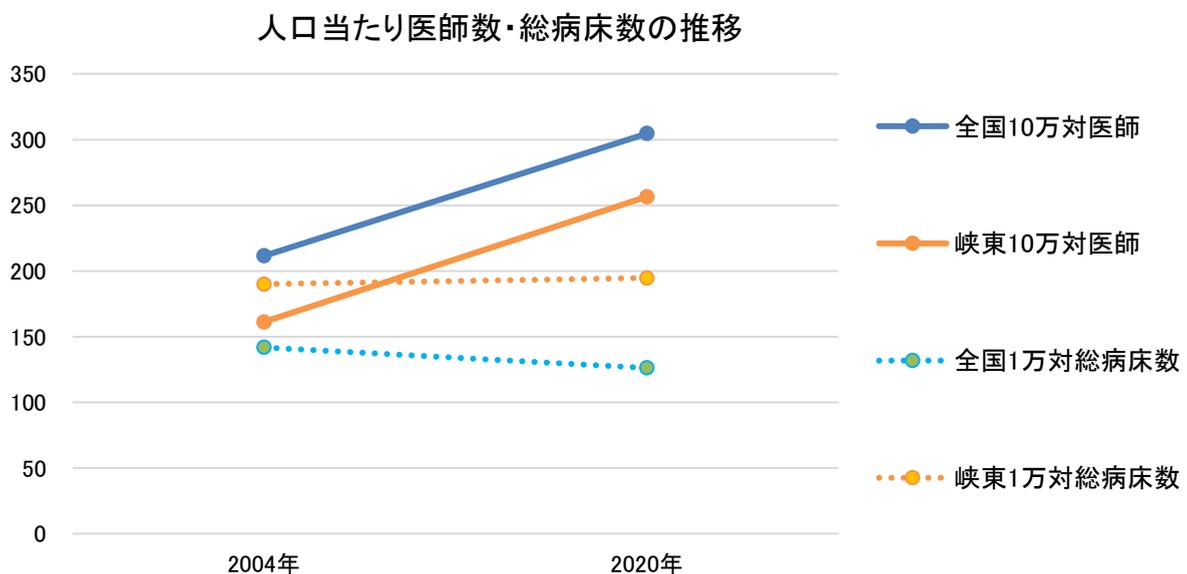
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は14(人口10万人当たり9.6病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2020年に14(人口10万人当たり10.8病院(全国平均6.5)偏差値60)となり、16年間で増減がなかった。

2004年の診療所数は72(人口10万人当たり49診療所(全国平均76)偏差値37)であったが、2020年に85(人口10万人当たり66診療所(全国平均81)偏差値42)と、13診療所が増加した。

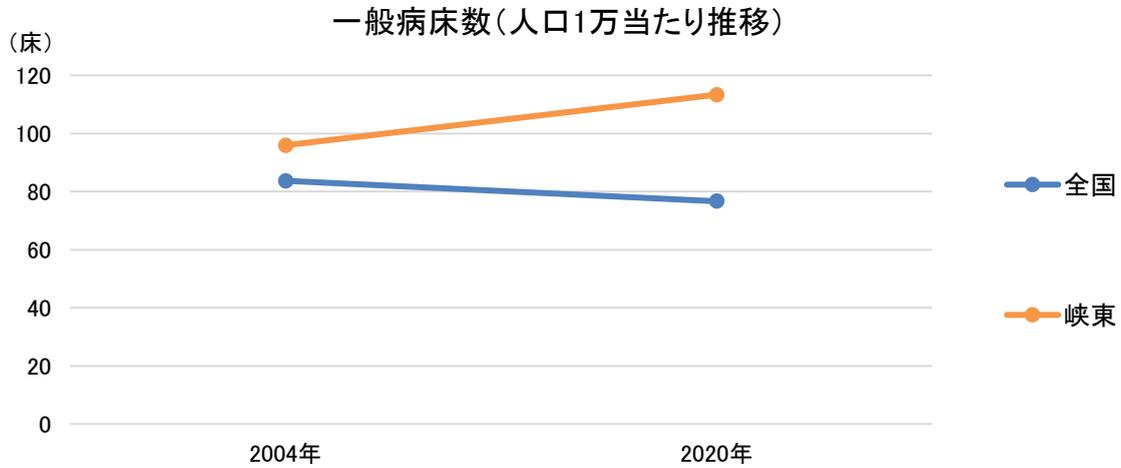
2004年の総病床数は2,781床(人口1万人当たり190(全国平均142)偏差値59)であったが、2020年に2,523床(人口1万人当たり195(全国平均126)偏差値63)と、258床の減少、率にして9%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は236人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2020年に333人(人口10万人当たり257人(全国平均305人)偏差値45)と、97人の増加、率にして41%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



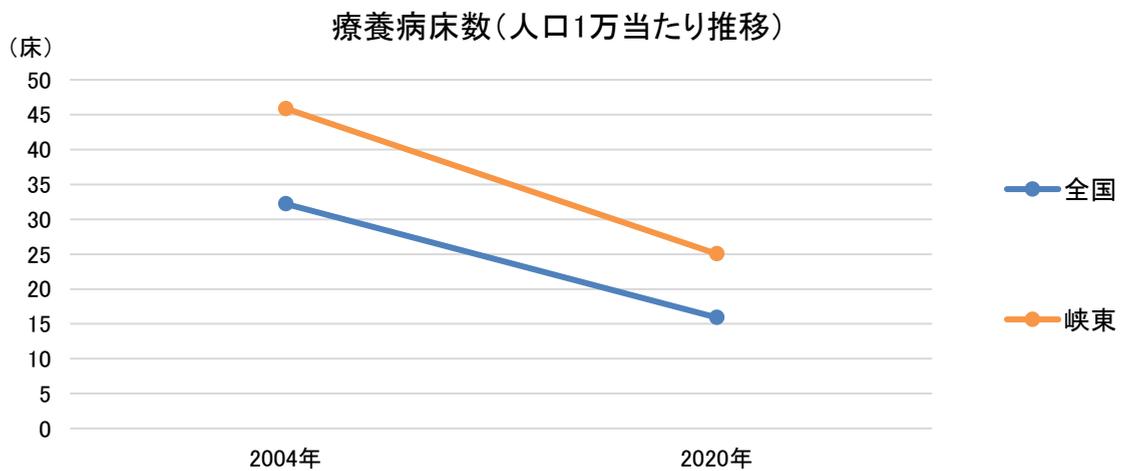
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,403床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2020年に1,469床(人口1万人当たり113(全国平均77)偏差値64)と、66床の増加、率にして5%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は815床(75歳以上1,000人当たり46(全国平均32)偏差値58)であったが、2020年に568床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均16)偏差値60)と、247床の減少、率にして30%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 19-3. きょうなん 峡南医療圏

構成市区町村 [市川三郷町](#) [早川町](#) [身延町](#) [南部町](#)  
[富士川町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (峡南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 峡南(西八代郡市川三郷町、南巨摩郡早川町、南)は、総人口約48千人(2020年)、面積1,060km<sup>2</sup>、人口密度は45人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 峡南の総人口は2030年に38千人へと減少し(2020年比-21%)、2045年に26千人へと減少する(2030年比-32%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の11千人が、2030年にかけて11千人とほぼ変わらず(2020年比±0%)、2045年には10千人へと減少する(2030年比-32%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 峡南の一人当たり医療費(国保)は383千円(偏差値53)、介護給付費は307千円(偏差値64)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数43、診療所医師数35)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は31と非常に少ない。峡南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 峡南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、713人(75歳以上1,000人当たりの偏差値30)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が643床(偏差値52)、高齢者住宅等が70床(偏差値24)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、816人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホームなし(偏差値35)、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム37、サ高住33である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値62と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、63人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## (峡南医療圏) 2. 推移

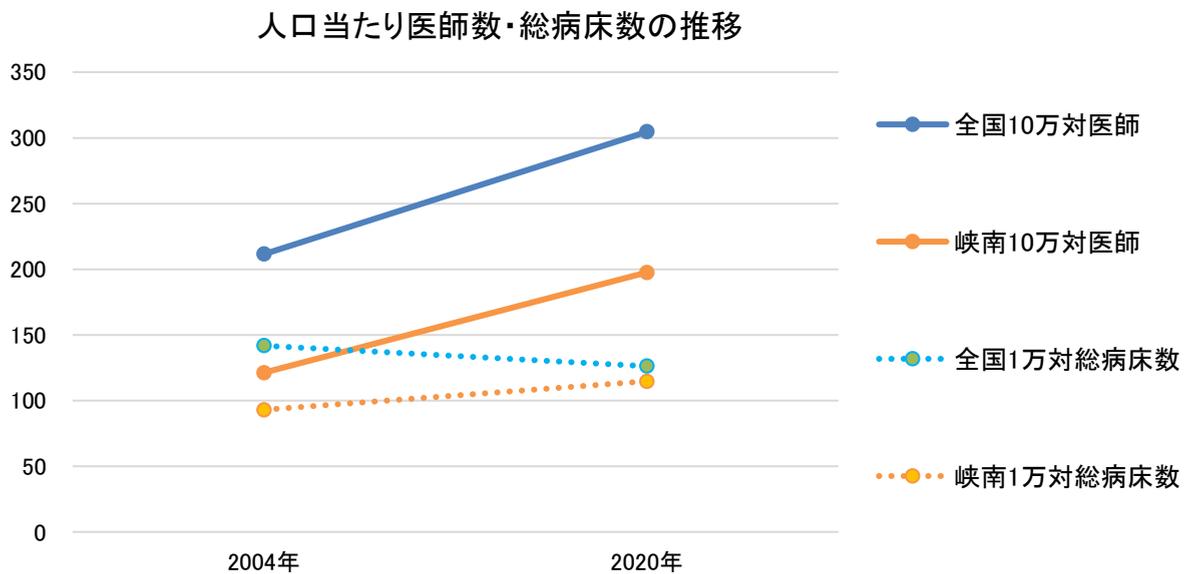
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は6(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2020年に6(人口10万人当たり12.5病院(全国平均6.5)偏差値64)となり、16年間で増減がなかった。

2004年の診療所数は49(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2020年に46(人口10万人当たり96診療所(全国平均81)偏差値58)と、3診療所が減少した。

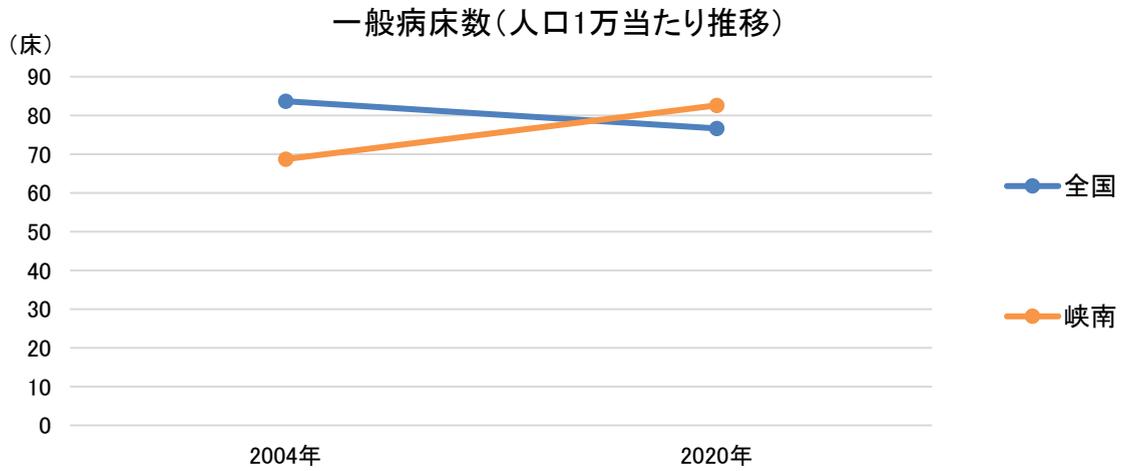
2004年の総病床数は590床(人口1万人当たり93(全国平均142)偏差値41)であったが、2020年に549床(人口1万人当たり115(全国平均126)偏差値48)と、41床の減少、率にして7%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は77人(人口10万人当たり121人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2020年に95人(人口10万人当たり198人(全国平均305人)偏差値39)と、18人の増加、率にして23%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



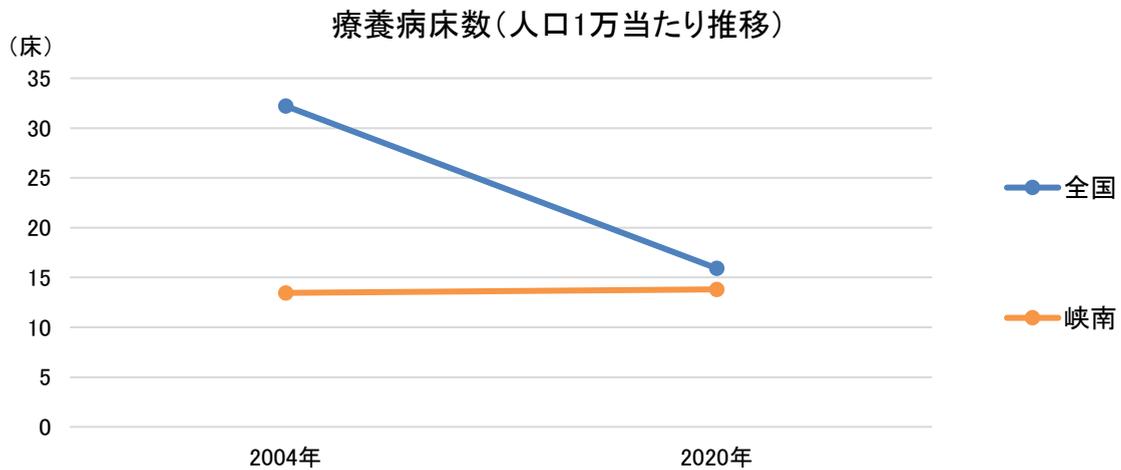
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は436床(人口1万人当たり69(全国平均84)偏差値45)であったが、2020年に395床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値52)と、41床の減少、率にして9%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は150床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2020年に150床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均16)偏差値48)と、増減がなかった(全国平均21%の減少)。



## 19-4. <sup>ふ</sup><sup>じ</sup><sup>と</sup><sup>う</sup><sup>ぶ</sup>富士・東部医療圏

構成市区町村	<a href="#">富士吉田市</a>	<a href="#">都留市</a>	<a href="#">大月市</a>	<a href="#">上野原市</a>
	<a href="#">道志村</a>	<a href="#">西桂町</a>	<a href="#">忍野村</a>	<a href="#">山中湖村</a>
	<a href="#">鳴沢村</a>	<a href="#">富士河口湖町</a>	<a href="#">小菅村</a>	<a href="#">丹波山村</a>

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (富士・東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 富士・東部(富士吉田市)は、総人口約173千人(2020年)、面積1,309km<sup>2</sup>、人口密度は132人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 富士・東部の総人口は2030年に150千人へと減少し(2020年比-13%)、2045年に118千人へと減少する(2030年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の28千人が、2030年にかけて33千人へと増加し(2020年比+18%)、2045年には33千人へと減少する(2030年比-21%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 富士・東部の一人当たり医療費(国保)は373千円(偏差値50)、介護給付費は243千円(偏差値44)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40(病院医師数38、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。富士・東部には、年間全身麻酔件数が500例以上の富士吉田市立病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値41と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 富士・東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,719人(75歳以上1,000人当たりの偏差値27)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,367床(偏差値45)、高齢者住宅等が352床(偏差値29)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,648人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院48、有料老人ホームなし(偏差値35)、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム37、サ高住41である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値31と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、166人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## (富士・東部医療圏) 2. 推移

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

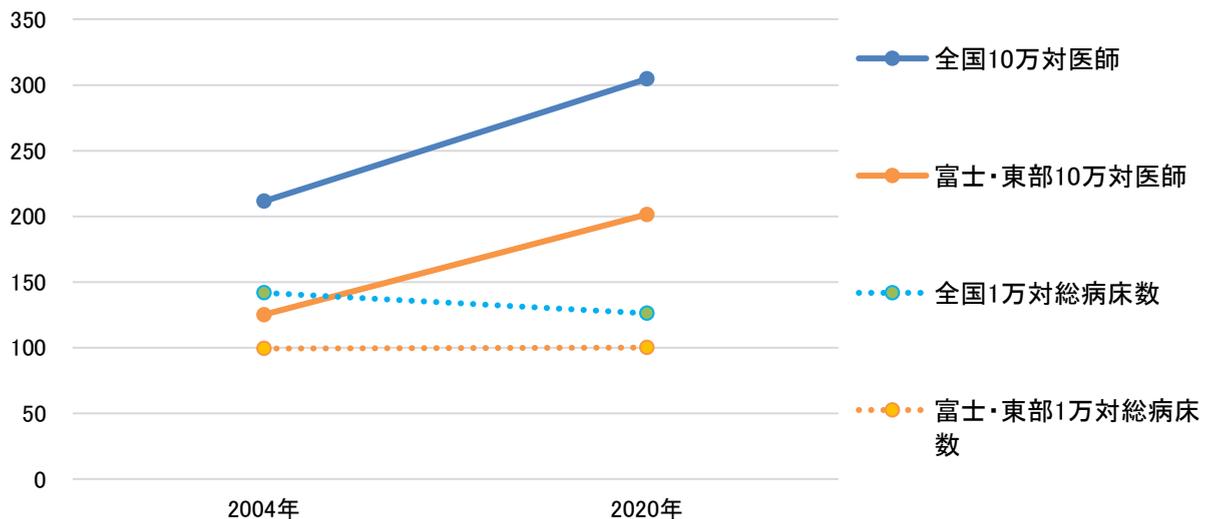
2004年の病院数は8(人口10万人当たり4病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2020年に8(人口10万人当たり4.6病院(全国平均6.5)偏差値45)となり、16年間で増減がなかった。

2004年の診療所数は129(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2020年に142(人口10万人当たり82診療所(全国平均81)偏差値50)と、13診療所が増加した。

2004年の総病床数は1,972床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2020年に1,732床(人口1万人当たり100(全国平均126)偏差値45)と、240床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

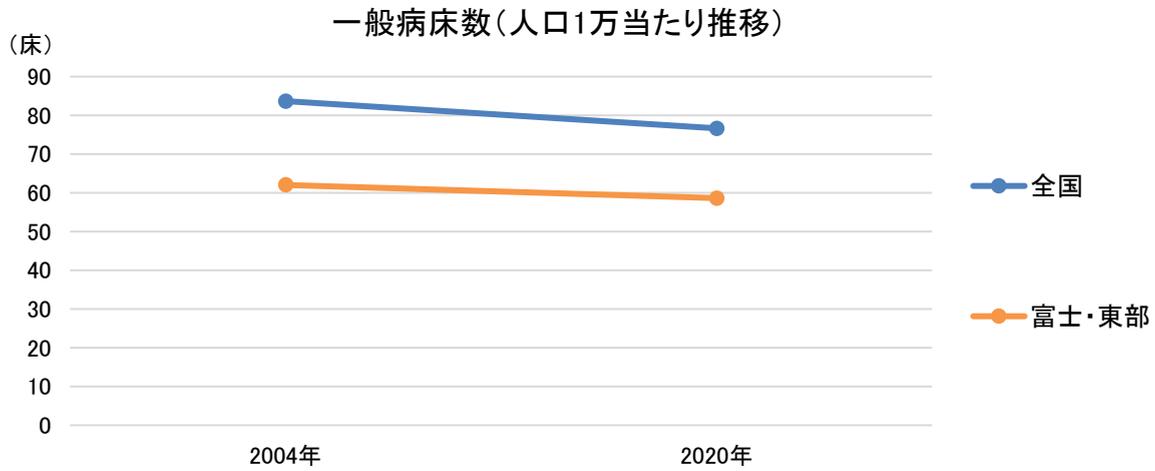
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は248人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2020年に348人(人口10万人当たり201人(全国平均305人)偏差値40)と、100人の増加、率にして40%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,230床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2020年に1,014床(人口1万人当たり59(全国平均77)偏差値43)と、216床の減少、率にして18%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は196床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2020年に174床(75歳以上1,000人当たり6(全国平均16)偏差値40)と、22床の減少、率にして11%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。

